

新型コロナウイルス感染拡大に伴うリスク対応について [Ver.3] 4月3日更新版

一般社団法人 日本アド・コンテンツ制作協会
専務理事 薬師寺 衛

JAC 会員社より、「CM 撮影参加者の『新型コロナウイルス陽性』が後日確認されたため、その撮影の他の参加者が自宅待機している」という事例が報告されました。制作会社は検温等の必要な感染防止対策を講じており、現場で体調不良を訴えていた方はいません。その撮影が感染源であると特定されてもいません。しかしリスクは明らかに高まっています。「撮影中の俳優の感染が判明し使われていた都内撮影所が一時封鎖」「TV ドラマ収録一時休止」の報道もあります。制作担当者が感染抑止策を十全に講じたとしても、スタジオ業務がいわゆる「3つの密(密閉・密集・密接)」となりがちな環境であることは変わりません。「無症状の感染者」によるクラスター発生リスク回避までは保証できません。

感染経路が不明な方の割合も日々増加し、どこで誰が感染するかわからない深刻な現状において、もはや制作現場担当者のみによる対応は限界となっており、制作会社も「社」として「人命尊重」と「事業継続」の選択に関わる重大な方針提示が必要となる状況になっています。

一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会は、この状況に対し参考となる指針を示すため、「新型コロナウイルス感染拡大に伴うリスク対応について」を[Ver.3]へ更新しました。ご理解、ご協力を賜りますようお願い致します。

※この内容は状況に伴い、変更される可能性がある事をご了承ください。

記

【リスク環境における業務継続のフェーズ分類】

JAC ではリスク下での制作業務継続について、下記の分類を用意し、フェーズに応じた対応を考えています。

[0]平常継続フェーズ [1]条件付継続フェーズ [2]一時的中断選択フェーズ [3]一時的中断フェーズ

東京都知事が「今がまさに感染爆発を抑えられるかどうか、その重大な局面であり、『3つの密(密閉・密集・密接)』を避ける事が重要」と会見で述べています。撮影スタジオをはじめとする私たちの就労現場は、そもそも「3つの密」を避け難い環境です。

感染爆発の回避＝人命尊重が最重要という観点から、現状は[2]一時的中断選択フェーズと判断でき、さらに[3]一時的業務中断フェーズも現実的となっています。可能な限り、リスクを伴う制作業務継続を回避すべき段階にあると考えます。

【制作会社が「社」として講じるべき対策】

1. 感染拡大リスクの最新情勢を常によく理解し、社内外の関係スタッフの安全優先を考慮した上で、個社の方針を定めた書面を作成し、制作業務における「リスク類型^{※1}」と共に「社」として広告会社、アドバイザーへ早期に共有する。
方針内容によっては現場対応では限界があるので、役員以上が動く体制を整えておくことも検討する。
2. 案件個々で「リスク類型^{※1}」がどのような具体性を持つか見定め、「企画見直し」「参加人数等の規模縮小」にとどまらず、「延期」「一時的中断」「中止」等の相談・検討を継続的に行って判断を仰ぎ、状況によってはその判断内容の詳細を書面に残す。
3. 得意先判断で制作業務を回避せず実施する場合も想定し、制作上の各作業(オーディション、ロケハン、撮影、編集、打合せ等)それぞれについて「社の実施基準(ガイドライン)」を定めておくことを検討する。

【例】「参加できる最大人数」「*実施方法の工夫」等 (*「動画提供オーディション」「リモート参加」等が想定されるが、これらには個人情報保護や秘密保持の観点で新たな別リスクが生じるので要注意)

4. 同様に、各制作業務の「延期」「一時的中断」「中止」を提案する具体的な判断基準を定めておくことを検討する。
- 【例】『医療危機的状況宣言』『医療崩壊』『感染爆発』『非常事態宣言』等の発令・発表の有無を基準にする
- 「『3密』が不可避である等、制作部による『安全配慮義務履行』が不可能な場合は実施しない提案をする」
- 「〇名以上のロケ・ロケハンは特に風評リスクが高いため実施しない提案をする」「判断に迷う場合は実施しない方向で提案する」等。
5. 制作現場に関わる感染者が出た場合の初期対応について社内であらかじめ講じ、社員に周知する。
- 【例】撮影後数日して新型コロナウイルスの感染を疑わせる事象が発生したとき、または感染したことが判明したときには関係者に速やかに連絡し、保健所に協力するなど、しかるべき対応をとる。
6. 案件個々における「可能な限りの対策実施」「直前で中止や延期する場合の具体的な基準や感染発生時の対応」「制作現場が感染源であることが疑わしいとされる場合の対応」等については、関係者(得意先、スタッフ、出演者、施設、制作会社等)と事前に書面にて合意しておくことを「社」として検討する。(発生しうる各所への金銭的補償の可能性についても含む)場合によっては外注先への「同意書」、得意先への「確認書」を「社」として定めておくことも検討する。

リスク類型^{※1}

	説明	回避のために可能な努力
① 人命リスク	a. 感染リスク(内部/外部スタッフの) b. クラスター発生リスク(社内/社外就労場所での)	①②a③a共通 ・安全配慮義務履行による回避努力(「3密」徹底回避は必須) ※完全なリスク回避は不可能[無症状の感染者による感染拡大の可能性] ・「3密」を満たす企画・演出は実施しない(大人数や高唱がある等)
② 責任リスク	◆現場業務の性質自体に不可避な「責任」に繋がるリスクが内在し、「補償」も問題となる a. 業務特性リスク [設備]スタジオや会議室の特性上「3密」のうち「密閉」はそもそも避け難い [食事]長時間の現場業務ではスタッフへの食事提供は避け難い [調達]安全衛生用品枯渇の状況下では十全な対策の為の調達が困難 b. 補償リスク(内部/外部スタッフの/外注先設備への) 感染・クラスター発生において、制作業務実施が明らかにその原因となり、さらに著しい安全配慮義務の欠如が証明された場合に発生する可能性	②a: [設備]定期的な換気 [食事]「個別・密閉性」 [調達]参加者自弁 ②b: 事前に補償について関係者と書面を取り決める 参加者「同意書」、得意先「確認書」を事前にもらう事も検討 ③a: ・〇人以上のロケ・ロケハンは実施しない ・人目につかない環境の業務でも、「明らかに無理がある」等、参加者に納得されない業務は実施しない ③b: 企画コンテ、演出コンテ、撮影、編集チェックを厳密に実施
③ 風評リスク	◆現状の社会通念上問題となる業務実施の事実が喧伝された場合に発生する可能性 a. 実施上のリスク: 感染拡大を顧みず実施強行した業務について、第三者による書き込み・映像UP等で情報が流布した場合 b. 表現上のリスク: 自粛すべき企画内容のまま発信した場合	
④ 納品リスク	◆感染拡大に起因する不可抗力の外的要因によるリスク(突発的発生もある) ex. 出演者やスタッフの突然のキャンセル・参加不能、スタジオやロケ地など施設の突然の閉鎖など	・代替手法を事前に検討し共有しておく(場合により代替実施も不可能に) ・安全対策が納期遅延要因となる場合は予めスケジュールに反映させておく(安全配慮努力は必ずしも納品リスク回避策とならない)
⑤ 予算リスク	◆感染拡大に起因する不可抗力の外的要因によるリスク(突発的発生もある) ex. 出演者やスタッフの突然のキャンセル・参加不能、スタジオやロケ地など施設の突然の閉鎖など	・代替手法を事前に検討し共有しておく(場合により代替実施も不可能に) ・安全対策が予算増大要因となる場合は予め予算に反映させておく(安全配慮努力は必ずしも予算リスク回避策とならない)
備考	※制作上の努力だけでは、上記リスクを回避することはできません。 ※制作会社個々の「業績リスク」も上記とは別に考慮すべき問題です。	

※現状は、リスクを伴う制作業務継続は可能な限り回避すべきフェーズ[2]です。

しかし得意先判断で制作業務を実施する場合は下記現場対策を参考にして下さい。

【プロデューサーが講じる対策】

1. 「スタッフおよび出演者、撮影等立会の皆様へ」^{※2}のお願いを撮影事前にお知らせし、現場の安全衛生管理を徹底する。
2. 直前や当日に体調不良が発覚した場合、参加を御遠慮いただく可能性があることを周知する。
3. 万が一撮影等の準備や当日に、スタッフや出演者が体調不良や感染の疑いなどにより参加できない場合の代替手段を事前に検討するが、代替手段も機能せず延期せざるを得ない状況になる可能性について得意先の理解を得ておく。
4. オーディションや撮影等、多くの人が集まるのが想定される場所では、「定期的な換気」「参加者の分散」「必要以上の発声を避ける」等、「3密」にならないよう充分に配慮し、手洗いや持参のマスクの着用を推奨する。
5. オーディションや撮影等に幼児・小中高生・高齢者の参加が必要な場合は、(一社)日本モデルエージェンシー協会 HPにある「お願い <https://www.j-m-a-a.com/>」を参照し、配慮すること。

6. 体調不良や感染の疑いのあるスタッフ・出演者は、無理に撮影等に参加させない。
7. 撮影等で食事・軽食・菓子を提供する際は、個別性・密閉性を重視するなど感染拡大の抑止に充分注意を払う。
8. スタッフ・出演者が撮影後数日して新型コロナウイルスの感染を疑わせる事象が発生したとき、または感染したことが判明したときには関係者に速やかに連絡し、保健所に協力するなど、しかるべき対応をとる。

【広告主・広告会社の皆様へ】

1. 撮影日の変更、撮影の中止、出演者変更、スタッフ変更、企画内容一部変更などが突発的に起きる可能性があります。突発的に制作業務が中断するリスクがある現状において、「代替案がない」「事前に準備した代替案・代替手法・代替施設利用の実施も困難になる場合がある」ことをご理解ください。
[要因例]「出演予定者が体調不良・感染の疑いや移動不可となって出演できない」「明日撮影予定のスタジオが閉鎖になった」「明日撮影のメインスタッフに体調不良や感染の疑いが生じた」等
2. 上記「1」の場合、費用や対価、スケジュールが変更になる場合があります。
3. マスク・消毒液等の衛生用品については当面は入手が難しい状況である為、制作会社がオーディションや撮影等の現場にこれらを完備することも困難です。参加者の主体的な協力も必要な「可能な限りでの安全配慮体制」とならざるを得ない事を予めご了承ください。
4. 現状は、多人数で「3密」が不可避となる企画、幼児・小中高生・高齢者の出演が必要な企画、感染拡大地域での撮影、海外からのスタッフや出演者の招聘等は、「実行不可能」或いは「実現性が低いもの」になっています。
リモートで実施可能な企画や手法の選択をお奨めしていくこともありますがご理解ください。

【スタッフおよび出演者、撮影等立会の皆様へ】※²

1. 新型コロナウイルスに感染、および感染の疑いにより参加できない方は、できるだけ早めに制作会社担当者までご連絡ください。
2. 身近に新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者と認定された方がいる場合、および本人に過去 2 週間以内に海外渡航歴がある場合は、制作会社担当者にお知らせください。
3. 体調不良（咳・37.5℃以上の発熱等）の方は、制作会社担当者へ連絡の上参加をご遠慮ください。
4. 撮影等立会い中に体調不良になった場合は、直ちにその旨を制作会社担当者にお申し出ください。
検温やヒアリングを実施し以後の参加を御遠慮いただく可能性があることをご理解ください。
5. 撮影等の実施当日は、「マスクの着用」「手洗い」「うがい」など、各自での感染防止対策をお願いいたします。
マスク・消毒液等については当面は入手が難しい状況である為、制作会社が撮影等の現場にこれらを完備することも困難です。基本的に制作会社で多数を用意することはできません。制作会社担当者はマスクを着用する場合もある事をご了承ください。
6. 撮影後数日して新型コロナウイルスの感染を疑わせる事象が発生したとき、または感染したことが判明したときには制作担当者に速やかにご連絡ください。

この内容は状況に伴い、変更される可能性がある事をご了承ください。

0120-565-653

新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話相談（コールセンター）

受付時間 9：00～21：00

以上